

緊急報告 2017年度決議審議会 提案案件の抜粋

従来は、3年毎に開催される規定審議会に於いて、制定案と決議案が審議されてきましたが、規定審議会では組織規定に変更を加える制定案と、RI理事会の見解を表明する見解表明案のみが審議されて、地区やクラブから提案される決議案は、毎年オンラインで開催される、決議審議会によって審議されることになりました。なお、この決議審議会に投票できるのは地区で選出された代表議員に限られています。

2017年度の決議案が出そろいましたので、提案案件の主なものを抜粋いたします。全部で38案件ありますが、そのほとんどは日本からの提案です。

2680 地区 PDG 田中 毅

決議案 17R-01

クラブ戦略計画委員会の設置を推奨することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 千葉ロータリークラブ（日本、第 2790 地区）

承認者： 第 2790 地区郵便投票により承認（2017年6月21日）

各ロータリークラブが今後の変動する社会情勢の中で確実に存在し、各地域において継続的な奉仕活動をするためにクラブの充実は最低不可欠なものである。

各クラブの組織をより強固なものとして、長期的な視点に立ち、クラブ運営を見直し新たな運営方法を見出すことはクラブ存続にとってもより有意義なことになる。

よって、国際ロータリーの決議により、クラブの特性を生かしたロータリークラブ戦略計画委員会を持ち、継続的なクラブの発展の機会を持てるよう推奨ロータリークラブ細則に明記することを検討するものとする。（本文終わり）

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われる。

決議案 17R-02

すべてのクラブ例会を「四つのテスト」で開始することを推奨することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 千葉ロータリークラブ（日本、第 2790 地区）

承認者： 第 2790 地区郵便投票により承認（2017年6月21日）

「四つのテスト」はロータリーの基本理念である「奉仕」を具体的に4つの例をもって言いあらわしたものである。また、これは標準ロータリークラブ定款により、会員資格にもかかわる重要なものである。然るにクラブ例会で「四つのテスト」を唱和しないクラブも多く

存在する。その結果、「四つのテスト」を知らない会員がいるクラブも存在する。よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリアンの基本理念でもある「四つのテスト」を、すべてのクラブの例会開会時に唱和することを推奨することを検討するものとする。(本文終わり)

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼすことはないと思われる。

決議案 17R-03

最低会員数 20 名を各クラブに義務づけることを検討するよう理事会に要請する件

提案者： 第 3860 地区（フィリピン）

承認者： 第 3860 地区立法案検討会（フィリピン、Cebu、Cebu）にて承認（2017 年 6 月 28 日）

新クラブにおいては、最低 20 名の創立会員が義務づけられている。RI への加盟登録後はこの最低会員数の義務が適用されないため、ほとんどのクラブは、前述の会員数の維持に以前ほど注意を払わなくなる。よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、RI 加盟および会員身分の継続条件として、各クラブが最低 20 名の会員を維持することを義務づけることを検討するものとする。(本文終わり)

趣旨および効果

本決議案は、各クラブにおける十分な会員数の維持を、従わざるを得ない見解として奨励することを目的としている。このような方針を採用することで、個々のクラブの存続が確保され、クラブが RI 目標の全体的達成に貢献できるようになると思われる。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI の人頭分担金の純収入の大きな減少につながると思われる。最低 20 名の会員を維持することがクラブに義務づけられると、会員数 19 名以下のクラブに、解散、またはほかのロータリークラブとの合併、または追加会員の勧誘の義務が生じる。2017 年 8 月現在、合計 142,000 人の会員を擁する 10,500 のクラブがこれに該当し、これらのクラブは終結される可能性がある。この会員数、さらに 2020 会計年度の RI 人頭分担金額として承認された 68 米ドルを前提とした場合、同会計年度から 1,000 万米ドルの収入減となると推定される。

RI 細則により予算の均衡が義務づけられているため、収入が大きく減少した場合、RI の運営・業務に影響が及ぶ。

決議案 17R-06

クラブの柔軟性による効果について調査することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2840 地区（日本）

承認者： 第 2840 地区大会（日本、群馬県、前橋市）にて承認（2017 年 4 月 16 日）

2016 年規定審議会にて、クラブ運営に大幅な柔軟性の導入が採択された。その目的である会員増強とクラブ活性化に柔軟性の導入がどのように変化をもたらしたか、どのような効果が生じたかの調査と分析結果の開示が重要である。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、柔軟性を導入したクラブの現状を毎年調査し、その結果を全クラブに開示することを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

世界的にロータリーの会員数が伸び悩む状況下、2016 年規定審議会は、クラブ運営の大幅な柔軟性の導入が可能となる画期的な RI 組織規定改正を決議した。しかし、多くのロータリークラブは柔軟性の導入に慎重になっている。柔軟性を導入したクラブの効果に関する適切な情報開示があれば、さらに多くのクラブが勇気をもってクラブ改革に挑戦できるであろう。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。経費の実際の額は、この目標を達成するために RI 理事会が提供する支援の内容によって決まると思われる。

決議案 17R-07

試験的プログラムの情報公開を検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2680 地区（日本）

承認者： 第 2680 地区立法案検討会（日本、兵庫県、神戸市）にて承認（2017 年 5 月 20 日）

国際ロータリーは、ロータリー運動を強化するために、「2015 - 17 年度：革新性と柔軟性のあるクラブ試験的プログラム」などの試験的プログラムを実施し、途中経過や結果についてデータを収集している。

ロータリークラブにおいて、クラブを活性化し強化するために、これらの試験的プログラムに関するデータを参照することができるならば、クラブの努力や工夫はより効果的なものとなる。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、試験的プログラムについて、途中経過や結果などにつき、できる限り詳細なデータを添えて、公式言語により、国際ロータリーのウェブサイト上に定期的に公表することを検討するものとする。（本文終わ

り)

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。現在、試験的プログラムの進展に関する報告は行われておらず、そのため、試験的プログラムの結果について情報を集め、翻訳し、掲載するために追加の費用が発生すると思われる。

決議案 17R-08

地域独自のロータリークラブ定款を作るため、規定審議会に立法案を提案するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 高山中央ロータリークラブ（日本、第 2630 地区）

第 2650 地区（日本）

承認者： 第 2630 地区郵便投票により承認（2017 年 5 月 30 日）

第 2650 地区大会（日本、福井県、越前市）にて承認（2017 年 4 月 9 日）

国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、地域別のロータリークラブ定款を設定するため、規定審議会に立法案を提案することを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

理事会は、2015 年 10 月会合の決定第 50 号において、「ロータリーの組織化された文化はグローバルなマーケットトレンドを考慮して、柔軟性を持つべきであるが、一方でロータリーの中核的目標や歴史的価値にも焦点を当てるべきである」との決定を下した。

そして、2016 年の規定審議会において、標準ロータリークラブ定款が大幅に改正され、クラブの柔軟性、自由度が認められ、クラブ細則によってかなり自由なクラブ運営ができるようになった。

このような状況の下、100 年の歴史を誇る日本においては、クラブの柔軟性を考慮しつつも、ロータリーの誇りと伝統を守ってきた歴史的な価値を重視しようという考えに基づき、日本統一の定款を望む声が多い。

日本は現在 34 地区、9 万人を擁する地域であり、またミクロネシア諸島を除いて単一言語である。そこで、地域別のロータリークラブ定款を作成することによって、日本全体として統一的なロータリー活動もしやすく、他クラブとの連携も図りやすい。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。経費の実際の額は、この目標を達成するために RI 理事会が提供する支援の内容によって決まるとと思われる。

決議案 17R-09

日本における地域単位の意味決定機関を創設することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2650 地区（日本）

承認者： 第 2650 地区大会（日本、福井県、越前市）にて承認（2017 年 4 月 9 日）

日本は 34 地区、9 万人を擁し、独自の言語や独自の文化を持つ地域である。

また、RI は多様性を推進している。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、日本における地域単位の意味決定機関を創設することを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

日本は現在 34 地区、9 万人を擁する大きな地域であり、またミクロネシア諸島を除いて、日本語を単一言語とする地域である。現在 34 地区のガバナーは、定期的にガバナー会を開催し、日本のロータリアンの意見の統一を図り、日本全体のロータリー活動を支援してきた。しかし、日本のガバナー会は正式な決定機関でもなく、またその権限もない。日本全体を統一する意思決定機関があれば、日本のロータリーはより機動的に統括され、RI の推奨する方針をより迅速に実際の活動に反映することができる。勿論、この組織は、RI の指揮の下での組織であり、RI の決定に従い、それをさらにきめ細かく推進し、浸透させるための組織である。その結果、この組織は日本のロータリー組織の発展と拡大に大きく寄与するものとする。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。経費の実際の額は、この目標を達成するために RI 理事会が提供する支援の内容によって決まると思われる。

決議案 17R-10

「ロータリーの目的」を明確にすることを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 高山中央ロータリークラブ（日本、第 2630 地区）

承認者： 第 2630 地区郵便投票により承認（2017 年 5 月 30 日）

国際ロータリーの戦略計画に掲げるロータリーの理念に関する理論体系と、国際ロータリー一定款、標準ロータリークラブ定款、さらには 2016 年版手続要覧に記載されたそれは、統一性および整合性において再考される必要がある。

特にロータリーの原理は、「ロータリーの目的」の主文である。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの目的は意義

ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあることを明確にすることを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

一つの理念を実践する組織が構築されると、そこに中核となる価値観が考えられ、それに基づく運営のために規則が作られ、未来に向かって展開して行くと考えるとき、国際ロータリーの戦略計画に掲げられた理念、国際ロータリー定款・標準ロータリークラブ定款に記述された理念において、やや整合性に欠けるきらいがある。

これらの理論体系を「ロータリーの目的」を中心に置いて整理統合し、一般会員の理解が容易に得られるよう系統的な叙述で定款に記載することができれば極めて意義深い。これによって、よりいっそうロータリー精神が明確となり、奉仕活動に邁進し、賛同者が増強されることが期待される。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われる。

決議案 17R-11

四つのテストに第五項目を加えることを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者: Haenertsburg ロータリークラブ

（ボツワナ、モザンビーク、南アフリカ、スワジランド、第 9400 地区）

承認者: 第 9400 地区大会（南アフリカ、Limpopo、Polokwane）にて承認

（2017 年 6 月 22～25 日）

既存の四つのテストは、ロータリアンとしての生き方の礎であり、人との対応と道徳に向き合う上での理想を反映するものである。しかし、私たちの環境と脆弱な地球との関係を反映するものではない。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、地球との持続可能な関係を深く考えた「五つのテスト」の案を検討するものとする。その「五つのテスト」は以下の文言 とすべきである。

（訳注:「五つのテスト」は「Five-Way Test」の仮訳です。）

五つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 行為と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか
- 5) Will it PRESERVE PLANET EARTH for future generations?

(仮訳「未来の世代のために地球を保護するものかどうか」)(本文終わり)

趣旨および効果

四つのテストは、人との対応に関わる言行と倫理を主題としている。これに地球に対する対応を加えることで、ロータリアンによる人道的活動の長期的な持続可能性に対する倫理的チェックが加わる。人びとをロータリー活動の焦点とすることには変わりはない。

ロータリーの 6 つの重点分野に関する文書の序の部分に次の一節がある。「長期的な変化をもたらすために、青少年を支援し、健康状態を改善し、平和を推進し、そして特に地域社会の発展に貢献するために、協力して持続的に取り組んでいます」。

長期的な変化と持続可能性は、グローバル補助金および地区補助金の実行可能性を審査する上での要点であり、完全な意味においては、プロジェクトが環境に与える影響を考慮することを示唆している。「われらの天体、地球の保全」は、もはやロータリーの公式プログラムではないが、最初の支持者であるパウロ・コスタ元会長が表明したその原則は 4 つの重点分野のどの項目、ロータリーのどのプロジェクトに当てはめても実りあるものである。コスタ氏はこう述べている。「ロータリーのように、いいアイデアを伝える潜在能力を備えている団体は少ない。私たちが求めているのは、私たち自身のための善ではなく、地球とそこに住む人たちのための善なのだ」

前述の新項目を加えることにより、ロータリーの戦略計画における 3 つの戦略的優先項目が推進されると思われる。変革対応計画および戦略計画のために実質的な優先項目を掲げることで「クラブのサポートと強化」が実現される（「これらの変化はプロジェクトへのアプローチにどのような影響を与えるだろうか」）。深い意味での持続可能性という原則を強調することは「人道的奉仕の重点化と増加」につながる。地域社会全体に対し、ロータリーの中核的価値観を強調する機会をつくり、それによりロータリーとその取り組みに対する認知度を高めることで「公共イメージと認知度の向上」が支援される。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われる。

決議案 17R-12

ロータリーの中核的価値観と使命を追加する立法案を規定審議会に提案することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2650 地区（日本）

承認者： 第 2650 地区大会（日本、福井県、越前市）にて承認（2017 年 4 月 9 日）

国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリー戦略計画に掲げられているロータリーの中核的価値観と使命を、ロータリーの目的と整合性が取れるように、RI 定款と標準ロータリークラブ定款に書き加えることを規定審議会に提案することを検討す

るものとする。

さらに、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの目的に規定されている文言である「意義ある事業の基礎として奉仕理念を奨励し、これを育むこと」を RI の使命とすることを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨と効果

どのような組織であっても、組織には必ずその使命、ビジョン、中核的価値観が必要である。国際ロータリーは近年、ロータリーの戦略計画を発表し、ロータリーの理念体系も整備しようとしているが、RI 定款・標準ロータリークラブ定款との整合性に欠ける。

ロータリーの目的を含めて、ロータリーの理念を整理し、その理論体系を再構築し、これを定款に規定することは極めて意義深い。

これにより、ロータリーの理念体系が整備されることとなり、ロータリアンはより明確に、自信をもってロータリー運動にまい進することができる。そして結果的に、国際ロータリーの各種活動がより活発化することが期待される。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われる。

決議案 17R-13

中核的価値観 5 項目の順序を強調することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者: La Crosse ロータリークラブ（米国、第 6250 地区）

承認者: 第 6250 地区大会（米国、Wisconsin、La Crosse）にて承認

（2017 年 5 月 12～14 日）

RI 会員は、ロータリーの中核的価値観 5 項目を認識しているべきである。

ロータリアンは、RI の中核的価値観 5 項目に関し、その適切な表現に精通し、理解しているべきである。

RI の中核的価値観 5 項目を適切に表現する際には、ロータリーの他の基礎文書との整合性が保たれるべきである。

RI の基本声明の一つである「ロータリーの目的」には、ロータリーの活動は「知り合いを広めること」から始まることが明示されており、その結果としてロータリーの各奉仕分野における奉仕の機会が生まれる。

その歴史を見ると、ロータリーは親睦の機会として始まり、そしてリーダーが特定され、倫理モデルが構築され、新会員勧誘における多様性が奨励された結果、奉仕の機会が生まれた。よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、すべてのコミュニケーション形態において、RI の中核的価値観 5 項目を表現する際の正しい順序は次の通りとすると強調することを検討するものとする: 親睦(Fellowship)、リーダーシップ (Leadership)、

高潔性 (Integrity)、多様性 (Diversity)、奉仕 (Service)。(本文終わり)

趣旨および効果

4つの基本声明(または基本原則)は、ロータリアンがロータリーの理念の助長を目指す上で、指針を提供し、支援するものである。その基本声明(原則)とは、「国際ロータリーの使命」、「四つのテスト」、「ロータリーの目的」、5項目からなるロータリーの「中核的価値観」を指す。

RI 会員はあまねく、これら基本原則を整合性を持って表現し、よく理解しているべきである。前述の「ロータリーの目的」は、親睦と同義である「知り合いを広めること」から始まり、そこから、ロータリー会員の地元および海外の地域社会で会員による奉仕の機会が生まれる。高潔性は、ロータリーの道徳的権威をさらに強める主要な価値観である。本決議案の採択により、ロータリーの「中核的価値観」5項目が「ロータリーの目的」と結び付けられ、ロータリーの中核的価値観に対する会員の理解が、より隙間なく、包括的なものとなるであろう。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われる。

決議案 17R-14

ロータリーの基本理念の相互関係を明確にすることを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2840 地区 (日本)

承認者： 第 2840 地区大会 (日本、群馬県、前橋市) にて承認 (2017 年 4 月 16 日)

『2016 年手続要覧』の第 1 部には、基本理念が掲載されている。それらは羅列されているだけで、どれが上位概念か、どれがより根本的な文章か、どのように関連しているのかなど、それぞれの理念の相互関係、位置づけは明らかではない。

ロータリーの基本理念の相互関係や位置づけについて、多くのロータリアンは共通認識を持っていない。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの基本理念の相互の関連や位置づけに関する RI 理事会の見解と立場を、ロータリアンの意見を集約し、十分審議した上で明確にして、2019 年規定審議会までに表明することを検討するものとする。(本文終わり)

趣旨および効果

2013 年手続要覧には 5 つの基本理念が掲載されていたが、2016 年手続要覧では、12 に増えている。益々それぞれの理念のレベルや重要度や関連性が不明瞭になっている。ロータリ

一の基本理念を整理し、その体系を再構築することにより、ロータリアンは明確な理念と方針の下、より自信をもって、ロータリー活動に邁進することができる。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。経費の実際の額は、この目標を達成するために RI 理事会が提供する支援の内容によって決まると思われる。

決議案 17R-15

「奉仕」を定義することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 千葉ロータリークラブ（日本、第 2790 地区）

承認者： 第 2790 地区郵便投票により承認（2017 年 6 月 21 日）

ロータリーの根本理念である「Service」は各国の言語に訳される。その過程でニュアンスの過不足が生じる場合がある。

その結果、その国ではロータリーの根本理念全体が正しく理解されない事態が起きる。

このような誤解は RI の目的に関する混乱を引き起こし、ひいては誤ったロータリー観を作り出す。

特に英語圏ではない国々においてこの事態が起りやすい。

よって、「Service」の解説を理解しやすい英語によって表すことが必要である。

更に、それを英文のままに「Service」の公式な解説とすることが求められるその例として”**thoughtfulness and helpfulness to others**”などが挙げられる。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの根本理念である「Service」の言葉をわかりやすい英文で表し、その英文を「Service」の公式の解説とすることを検討するものとする。（本文終わり）

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。経費の実際の額は、この目標を達成するために RI 理事会が提供する支援の内容（文化的解釈に関し外部のコンサルタントが必要となる可能性がある）によって決まる。

決議案 17R-16

生態学的に持続可能な取り組みの支援を検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者: Tampere International ロータリークラブ（フィンランド、第 1390 地区）

承認者: 第 1390 地区郵便投票により承認

（2017 年 6 月 16 日）

自らの地域社会に影響を与えられるロータリーリーダーならびにソートリーダー（今後の方向性を示すことができるリーダー）による地元での取り組みが、世界中で必要とされている。私たちはともに、持続可能な開発を確保するため、私たちの行動を公共の福祉に向けることを決意する。

資源をただ使用していくという考え方は、持続不可能である。自然が廃棄物を出さずに資源を再利用しているように、人類も天然資源を使い捨てない消費を達成する努力をすべきである。

製品の企画・製造から使用、廃棄に至るまで、製品ライフサイクルの全段階で廃棄物を減らすため、デザインにおける” Less is more”（より少ないことは、より豊かなこと）という考え方が奨励されるべきである。エコロジカルな（生態系への影響が少ない）製品デザインによって、製品ライフサイクルを通じ、さまざまな種類の原材料をもっと再生・再利用することが可能である。

使用期間の終了時において、よりエコロジカルなプロセスを採用し、貴重な原材料を再利用し、潜在的危険物質の自然界への流入を防ぐため、製品および原材料の廃棄時に関する配慮が必要である。太平洋上に浮遊している廃棄物群は、プラスチックを制限なく自然界に排出した結果の目に見える例である。

未来の世代のために十分な天然資源を残すという目標を達成するには、持続可能な問題解決方法を人々にもっと認識してもらう必要がある。

ロータリーにおいて、世界レベルで持続可能な取り組みを計画することで、その取り組みを全クラブに拡大できる。また、ロータリアンの思いやりと、未来の世代のために重要な取り組みを支援したいという願いを示すことで、そのような取り組みを将来の若手会員にまで波及させることができる。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、生態学的に持続可能な取り組みとプログラムに注目し、支援することを検討し、さらに、「クリーンテクノロジー」を製造・製作する企業や、「循環経済」を推進する企業への投資増加を目指すことを検討するものとする。（本文終わり）

財務上の影響

本決議が実行された場合、国際ロータリーの経費の増加につながると思われるが、現時点でその額を特定することはできない。費用は、本目標を達成するために RI 理事会が提供する支援の範囲と内容により異なる。

決議案 17R-17

持続可能な開発と環境保護を重点分野に加えることを検討するよう管理委員会に要請する件

提案者: Bourg-en-Bresse-Revermont ロータリークラブ（フランス、第 1710 地区）承認

者：第 1710 地区大会（フランス、Châtillon-sur-Chalaronne）にて承認

（2017 年 6 月 17 日）

国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリー財団の重点分野に持続可能な開発と環境保護を加えることを検討するよう、ロータリー財団管理委員会に要請するものとする。（本文終わり）

財務上の影響

本決議が実行された場合、ロータリー財団の経費の増加につながると思われるが、現時点でその額を特定することはできない。追加の重点分野をひとつ支援するための一般管理費は年間 125,000 米ドルと推定されている。さらに、既存のソフトウェアに対する大規模な変更が必要となると思われるが、そのための費用の推定に必要なプロジェクトの見積もりは、現在存在しない。

決議案 17R-22

「雑誌月間」を指定することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者：大和中ロータリークラブ（日本、第 2780 地区）

承認者：第 2780 地区立法案検討会（日本、神奈川県、藤沢市）にて承認（2017 年 5 月 15 日）

公式雑誌（ロータリーの友）が有している重要性に鑑み、その理解と認識をあまねく世界のロータリアンが持てるようにする。

改めて RI として雑誌月間を制定することで、このような理解と認識が確実なものとなる。よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、再度、RI の公式ロータリー特別月間の中に「雑誌月間」を指定することを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

近年、地区リーダーシップ・プラン、クラブ・リーダーシップ・プラン、戦略計画等が展開される中、ロータリーは中核的価値観の一つである「奉仕」に重点をおいている。ロータリーの本質、ロータリー財団の使命から当然であるが、SNS の登場により、ロータリーの世界で最重要かつ唯一の共通基盤である公式雑誌（ロータリーの友）の購読が、従来の「雑誌月間」の削除からもうかがえるように、とかく疎んじられる傾向が感じられる。しかし本来公式雑誌（ロータリーの友）の購読は、ロータリーの三大義務の一つであり、ロータリアンにとっては重要な意味を持つものである。公式雑誌（ロータリーの友）には RI の方針、RI 会長のメッセージの他、有益なロータリー情報が盛り込まれていて、世界中のロータリアンがこの内容を確認し、理解するためにも、再度「雑誌月間」を制定し、RI 理事会がその重要性を強調・推進することが肝要であると考え。結果、ロータリアンがロータリーの意義を一層自覚出来ることになり、ロータリアンの資質の向上とロータリーの価値を高めること

にも結び付く。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。費用は、この目標を達成するために RI 理事会が提供する支援の内容によって決まる。

決議案 17R-23

グローバル補助金申請に水プロジェクト申請のテンプレートを含めることを検討するよう管理委員会に要請する件

提案者: Creston ロータリークラブ (カナダと米国、第 5080 地区)

承認者: 第 5080 地区大会 (カナダ、British Columbia、Nakusp) にて承認

(2017 年 5 月 12~14 日)

グローバル補助金による水プロジェクトは多い。

汎用のグローバル補助金申請の手続きはあまりに広範囲にわたっており、水プロジェクトに効率よく敏速に対応できない。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、申請者が水プロジェクトに特化した申請テンプレートを利用できるリンクをグローバル補助金申請手続きに加えるよう、管理委員会に要請することを検討するものとする。(本文終わり)

財務上の影響

本決議案は、財務的影響をロータリー財団に与えると思われるが、現時点でその額を特定することはできない。グローバル補助金申請手続きにこのような変更を加えるためには、既存のソフトウェアへの変更が必要となると思われる。この経費に関して、現在、推定額は得られない。

決議案 17R-26

『手続要覧』の白色ページを復活することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者: 木更津東ロータリークラブ (日本、第 2790 地区)

承認者: 第 2790 地区郵便投票により承認 (2017 年 6 月 21 日)

『手続要覧』2016 年版では、白色のページの数に大幅に削除された。『手続要覧』2016 年版には、注記として下記の記載がある。

RI 理事会およびロータリー財団管理委員会は年に数回会合するため、理事会および管理委員会の方針は変更される。従って、最新の情報は、rotary.org の組織規定のページから現行のロータリー章典およびロータリー財団章典を参照のこと。

理事会および管理委員会の方針が変更されることは承知しているが、それを理由にして『手

続要覧』の白色のページを削除することには賛成できない。

2013年版以前の『手続要覧』には、次の注記が記載されていた。RI 理事会および財団管理委員会は年に数回会合するため、理事会および管理委員会の方針は変更されることがある。従って、ロータリー章典およびロータリー財団章典の引用番号は変更される場合があるか、もしくは本要覧出版後の方針が古くなり適合しない場合もある。最新の情報は、ロータリー章典およびロータリー財団章典を参照のこと。

この記載により、理事会および管理委員会の方針が変更になっても、最新のロータリー章典およびロータリー財団章典を参照すればよいことになっていた。

『手続要覧』は、ロータリアンの手引きとして最も優れた出版物の一つであると信頼を寄せていた。しかし『手続要覧』2016年版は、あたかも『組織規定集』になってしまっているように感じる。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、2019年版以降の『手続要覧』には、従前の白色ページを復活することを検討するものとする。(本文終わり)

趣旨および効果

新会員に限らず、従来からの会員も含めて、多くのロータリアンが組織規定や理事会および管理委員会の方針に対する理解が薄れてきている。『手続要覧』から白色のページが削除されたため、今後その傾向がますます強まることが懸念される。

『手続要覧』に白色のページが復活すれば、ロータリアンの手引書として最も優れた出版物の一つとしての地位を復活するのみでなく、ロータリアンの研修の教材として広く利用されるものと期待される。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。『手続要覧』の白色ページの削除により、2016年には65,000ドルの印刷費用が削減された。追加の経費には、郵送費や白色ページの作成、維持、翻訳に必要な職員のリソースが含まれる。

決議案 17R-27

推奨ロータリークラブ細則を改正しクラブ会費を廃止することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者: Parys ロータリークラブ (レソトと南アフリカ、第 9370 地区)

承認者: 第 9370 地区郵便投票による

(2017年6月)

多くのクラブでは、会費 (RI 人頭分担金、地区賦課金、義務づけられている雑誌の購読料) のみを課し、食事代を減額または廃止し、クラブ運営と財団寄付のためにほかの資金源を活

用している。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、推奨ロータリークラブ細則を以下のように改正することを検討するものとする。

第6条を次のように改正する（『手続要覧』第102ページ）。

第6条 会費

本クラブの年会費は_____円とする。会費は次の通り支払われる：_____。クラブ年会費には、RI人頭分担金、「The Rotarian」誌またはロータリー地域雑誌の購読料、地区賦課金、クラブ会費、ロータリーまたは地区によるその他の賦課金で構成される。

第9条を次のように改正する（『手続要覧』第103ページ）。

第9条 財務

第2節 会計は、理事会によって指定された一つまたは複数の金融機関にクラブ資金を預金する。クラブ資金は、クラブ運営用と奉仕プロジェクト用の2つの口座に分けて預金する。（本文終わり）

趣旨および効果

本決議案は、提案されている変更が審議会に受け入れられるかどうかを確認することを目的としている。

本決議案が採択された場合、特別な募金活動を実施したり、慈善募金活動で集めた資金の一部を使用したり、クラブ資産を貸したり、あるいはそのほかの手段によって、クラブがその運営のための資金を集めることが正当化されると思われる。

財務上の影響

クラブ会費は国際ロータリーに支払われるものではないため、本決議案がRIに大きな財務上の影響を与えることはないと思われる。

決議案 17R-28

審議会の発言の記録を出版することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第2840地区（日本）

承認者： 第2840地区大会（日本、群馬県、前橋市）にて承認（2017年4月16日）

規定審議会の結果は、「決定報告書」でこれまでも公開されているが、審議過程の内容（趣旨と効果の説明、立法案に対する支持・反対の声明、会議運営手続きに関する動議、審議会メンバーによる発言等）については、公開されていないのが現状である。審議プロセスの詳細が公開されれば、次期地区代表議員も規定審議会に対して、より生産的・効果的な議論の準備ができる。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、2019年規定審議会から制定案の審議に際し、特別議員を含めた全発言を速記録（英文のみでも可）として公開する

よう検討するものとする。(本文終わり)

趣旨および効果

毎回の規定審議会と同趣旨の立法案の繰り返し提案を避けられる。また、今後、従来に無い観点からのより質の高い立法案提案に大いに効果が期待できる。国際ロータリーの唯一の立法機関である規定審議会の審議プロセスを全ロータリアンが共有することは今後の組織規定の質向上に欠かせない。代表議員だけに制限すべきではない。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。費用は、審議会の審議の記録形式と詳細さの度合い、ならびに配布方法によって決まる。

決議案 17R-29

RI 理事会に付託された制定案に関する審議過程を公開することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2660 地区（日本）

承認者： 第 2660 地区郵便投票により承認（2017 年 4 月 21 日）

2016 年規定審議会において、制定案 16-17、16-18、16-20「ロータリーの目的を改訂する件」が理事会に付託された。

制定案 16-41「仕事をしたことがない人が会員となることを禁じるよう、会員基準を改正する件」の検討が同年の規定審議会により無期保留となった。

上記の四案件はロータリーの基本理念（Guiding Principles）に関わる重要な案件であり、世界のロータリアンが RI 理事会での審議過程を注目している。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、上記案件の理事会での審議過程と審議結果については、その都度ロータリーウェブサイトへ開示することを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

RI 理事会の本件に関わる審議結果によって 2019 年規定審議会へ提出する制定案の内容を検討する必要がある。また毎年度開催される「決議審議会」が 2017 年より新たに導入されたので、次の 2019 年「規定審議会」での審議効率化を更に促進するためにも、今後は理事会で審議された後に、これらの審議情報が開示されるべきである。

財務上の影響

本決議が実行された場合、国際ロータリーに大きな財務上の影響を与えることはないと思

われる。

決議案 17R-31

ロータリーの人頭分担金を増額しないことを 2019 年審議会で検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2840 地区（日本）

承認者： 第 2840 地区大会（日本、群馬県、前橋市）にて承認（2017 年 4 月 16 日）

2016 年規定審議会にて RI 理事会より提案された制定案 16-99 は、当初立法案集では、人頭分担金を年 1 ドルずつ増額する提案であった。しかし、審議当日、急遽修正され、結果として毎年 4 ドルと大幅な増額が採択された。そのために、各ロータリークラブはその対応に苦慮しているのが現状である。

RI 理事会は、ロータリーの財政の健全化、組織体制のスリム化・合理化に努めるべきであり、クラブに対して説明責任がある。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの運営を一層明確化することにより、来る 2019 年規定審議会において、人頭分担金への変更を回避する努力をすることを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

かつてない大幅な人頭分担金増額は異例のことであり、多くのクラブが対応に苦慮している。また、国際ロータリー理事会は、ロータリーの運営管理の妥当性について十分な説明責任を果たしていないとも感じ始めている。RI 理事会は、今後、クラブの納得の得られない増額提案をしないように努めるべきである。

財務上の影響

本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点ではその額を特定することはできない。理事会は規定審議会に人頭分担金の増額を提案するか否かについて、RI の 5 年財務見通し、戦略計画、ビジョンを基に検討する。

RI 細則は、均衡の取れた予算を義務付けているため、RI 人頭分担金を増額させないことにより、RI の運営と業務に影響が及ぶ可能性がある。

決議案 17R-36

ロータリー章典の更新箇所に編集上の印を加えることを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 第 2650 地区（日本）

第 2680 地区（日本）

第 2840 地区（日本）

承認者： 第 2650 地区大会（日本、福井県、越前市）にて承認（2017年4月9日）

第 2680 地区立法案検討会（日本、兵庫県、神戸市）にて承認（2017年5月20日）

第 2840 地区大会（日本、群馬県、前橋市）にて承認（2017年4月16日）

ロータリー章典は、RI 理事会や規定審議会の決定に伴い更新され、ロータリーウェブサイトに掲載される。しかし、膨大なページ数からなるロータリー章典から変更箇所を検索することは容易ではないのが現状である。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、より早く、正確な理解を促すことができるよう、ロータリー章典の変更箇所を、削除される箇所は削除線、追加箇所は下線で示すことを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

ロータリーを運営する上で、最新のロータリー章典の変更箇所を確認する事が不可欠である。しかし、ロータリー章典へアクセスするロータリアンは、変更箇所の検索に大きな困惑を感じている。変更箇所が削除線またはアンダーラインで明確に示されれば、検索がより正確になり、また検索時間も短縮できる。

財務上の影響

本決議が実行された場合、ロータリー章典に編集上の印を入れるために必要な追加の事務的リソースが必要となることから、RI の経費増加につながる可能性がある。費用は、章典への変更の頻度と量により、毎年異なると思われる。

決議案 17R-38

投票機器の使用方法を審議会代表議員に研修することを検討するよう RI 理事会に要請する件

提案者： 釧路ロータリークラブ（日本、第 2500 地区）

承認者： 第 2500 地区郵便投票により承認（2017年6月23日）

規定審議会は、電子投票により投票が行われる。

2016 年規定審議会初日には、代表議員の投票機器の取り扱いが不慣れの為、100 票近い票が投票に含まれなかった。

このシステムは不正確な投票を引き起こす可能性がある。

よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、2019 年規定審議会の前日のリハーサルの中で、投票機器の取り扱いに関するセッションを実施する事と、投票機器をより簡単に投票できるものに変更することを検討するものとする。（本文終わり）

趣旨および効果

本決議案の趣旨は、本文に記載された通りである。効果については、精度の高い投票結果を

実現することにより、規定審議会に対する全世界のロータリアンの信頼を得ることができる。

財務上の影響

本決議が実行された場合、国際ロータリーに大きな財務上の影響を与えることはないと思われる。毎回の規定審議会の開始前には、代表議員を対象に投票機器の使用方法に関する研修セッションが行われている。さらに、投票機器の業者については 3 年毎に評価が行われる。